

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5年 1月 20日

事業所名 カラーズFC鳥栖

	チェック項目	はい	どちらとも いえない		いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた
			はい	いいえ			
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	5	1	0	活動の内容にもよるが、部屋の中でコーナーを分ける事で、ゆとりをもって過ごせている。		
	2 職員の配置数は適切であるか。	3	2	1	児童の人数に対してスタッフの配置は足りている		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切にされているか。	0	2	4	・二重手すりや、スロープがないため改善の必要あり ・トイレまでの扉が狭いので改善の必要あり		
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	0	・パートが参加することはないです ・朝礼と終礼で情報を共有し、振り返りを行う事ができている。		
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	4	2	0	・評価表を用いて改善に向けての問題を見つけ、対応していくようにしている ・保護者からのアンケートで自分たちの業務改善に繋いでいる ・送迎時に出た意見などは共有し改善できる面は行っている		
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等公開しているか。	3	3	0	・会報はないため、HPに掲載するようにしている。 ・周知するためにSNSの活用も行っている。		
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4	0	・外部評価は導入していないが、他事業所と連携を取りスタッフ同士で話し合っ改善する事ができるようにしている。		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6	0	0	・毎月勉強会の実施をしている ・虐待防止研修や会社全体での研修が定期的に行われていると思います		
適切な支援の提供	9 アセスメントを行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	1	0	・半年に一度モニタリングを実施して、シートの記載と聞き取りを行っている。		
	10 子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	4	2	0	・当社で使用しているアセスメントツールを使っている		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	1	0	・朝礼・終礼にて支援の振り返りやミーティングをする事が出来る。		
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	0	・夏休み、冬休みといった長期休みや祝日にイベントが行われており、児童たちに楽しさや喜びをもたらそうとしていると思います。		
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援を行っているか。	6	0	0	・1ヶ月毎にテーマを設定し、その都度、課題を抽出して改善策を話し合う機会を作っている		
	14 子供の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	0	・基本集団療育を行っているが、必要に応じて個別活動も行っている。		
	15 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか。	6	0	0	・児童の情報共有、来所されてからの流れや誰がついて支援するかなどを話している。 ・朝礼で前日の申し送り、その日の行事や注意すべき事、その日の役割分担を決めて話そうにしている。		

関係機関や保護者との連携	16	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	5	1	0	・終礼や朝礼で話し合いの場を設けている ・終礼で緊急性の高い出来事を話し、申し送りを行っている。(緊急性が少ないものは翌日の朝礼で話すか、ノートに書いて各自で確認を行うようにしている。)	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	0	・申し送りノートや練習日誌の記入を毎日行っている。 ・練習日誌を報告書として各家庭に配布している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画のモニタリングの見直しの必要性を判断しているか。	6	0	0	適宜モニタリングを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	2	4	0	ガイドラインに沿った複数の項目を組み合わせ運営している	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしいものが参画しているか。	6	0	0	支援会議においては、管理者及び児童発達支援管理責任者、もしくはリーダークラスが参画している。また、担当しているスタッフ(個別支援を行っているスタッフ)も参加して、さらに詳しく話せるようにしている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換・子供の下校時間等の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか。	4	2	0	・学校との連絡調整を行っているが、急な変更等があり対応できない事がある。 ・児童が時間割を見せてもらったり保護者に連絡したりしているが、時折下校時間割と実際の下校時間割が違う事がある。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子供の主治医等と連絡体制を整えているか。	4	2	0	・てんかんを持つ児童がどのような症状だったかを事務所内(給湯室内)に張っており、適切な対応を取るような環境が出来ている。 ・怪我をした際にかかりつけ医がある	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	1	情報共有を行うようにしているが、なかなかコロナ関連もあり連携が少ない。今年度から保育所等訪問が行われている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか。	3	3	0	支援内容の情報を提供する事で、児童のその日の様子を伝える事が出来る。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	4	2	0	外部の施設と連携し、研修等を行う事で情報共有を行う事が出来る。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか。	2	3	1	イベントを実施し、その中で障害がない子供たちとの交流会を設けるようにしている。また、年に1,2回は対外試合や遠征を行っている。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	5	1	0	管理者やリーダーが子ども部会に参加している。今年度はスタッフ一同子ども部会に参加している。	
	28	日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子供の発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	0	・送迎時に保護者との情報交換に努め、申し送りを行う時はその日児童がどのような様子だったかを事細かに話そうとしている。 ・保護者が連絡帳に書いている事についてスタッフから児童へ聞き取りを行い送迎時に申し送りを行うようにしている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。	1	4	1	外部講師より、ペアレントトレーニング等の研修を行っており、必要に応じ実施している。また、年に1回は親子サッカーを行っている。	

保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	0	契約時に、細かく伝えるようにしている。疑問点があった際には質問してもらおうような環境作りが出来ている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	6	0	0	・何度が悩みを聞いた事はあり、その都度終礼や翌日の朝礼で他スタッフに周知する事があります。悩みを聞いてすぐに助言を行うまでは至っていないため、将来的にはすぐに助言を行えるといいなと思っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか。	0	4	2	父母会という形ではなく、親子サッカーという形で、保護者同士の連携をとれるよう開催している。
	33	子供や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速にかつ適切に対応しているか。	5	1	0	直接的な苦情等があった場合は、速やかに対応するよう共通意識を持って取り組んでいるが、伝達ミスや連絡ミスが見られることがある。今後苦情に繋がらないように予防する必要がある。
	34	定期的に会報等を発刊し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか。	1	2	3	会報は見たことがありませんが、SNS(インスタグラム)で発信している。また、利用カレンダーに行事予定を記載し、長期休暇のイベントの際には別紙を配布する事がある。
	35	個人情報に十分注意しているか。	5	1	0	個人情報が増えないように職員全体でしっかりと注意してうごいている。仕事の話は家でしないようにしている。
	36	障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか。	6	0	0	伝達手段は、必要に応じ考慮するようにしている。口頭だけでなくジェスチャーやボディタッチを取り入れる事もある。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営をはかっているか。	0	2	4	現在地域住民の招待はしていないが、様々なチームとの交流と図れるよう年に1,2回対外試合を実施している。
非常時等の対応	38	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。	5	1	0	定期的にマニュアルを用いて研修を行う事が出来ている。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行っているか。	4	2	0	避難訓練を実施している。火災、地震、不審者等では避難の方法に違いがあるため、その事を踏まえた避難方法の共通理解を図る必要がある。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	1	0	佐賀県より外部講師に来ていただき、虐待防止の研修は必ず行うようにしている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子供や保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5	1	0	身体拘束について勉強会やスタッフ間で周知する事が出来ている。また、契約時に詳細をお伝えしている。
	42	ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有しているか。	5	1	0	ヒヤリハットがおこれば、その日のうちにヒヤリハット報告書に記載している。朝礼や終礼で振り返りを行うようにし、情報共有を行っている。